

水の恵みが100年先も続くために

先人の努力が実り、全面
通水をした豊川用水。

しかし、用水事業は決して
終わったわけではありません。
現在も水を安定して供給
するために工事や修繕が
続いています。

その中で豊川用水二期事
業と呼ばれる工事が赤羽根
や芦ヶ池などで行われてい
ます。平成11年から始まっ
た二期事業は起点の大野頭



芦ヶ池工区工事のトンネル見学の様子(水資源機構提供)

首工(新城市)から東部幹
線の終点の初立池までと、
西部幹線の終点までの区間
の老朽化した水路施設の改
築と耐震対策、それに併設
する複線の水路を造ってい
ます。この工事により用水
が複線化し、水の安定供給
はもろろんのこと、施設の
長寿命化や耐震性の向上・
水利の効率化が図られると
いわれています。

この工事を行っている独
立行政法人水資源機構(以
下・水資源機構)はこの他
施設の点検と補修を絶えず
行いつつ水を供給していま
す。こうした積み重ねが水
の安定供給につながり本市
の農業を支えているので
す。

そして水資源機構では用
水事業の必要性を伝えるた
め、工事現場の見学会を実
施しています。これまでも



赤羽根下流工区工事の外観

地元の小学生や農家など、
多くの方が訪れています。
見学は随時募集しています
ので、この機会に私たち
が安心して水を使用するた
め、どのような工事が行わ
れているか見学してみたい
かがでしょうか。

▼独立行政法人水資源機構

豊川用水総合事業部

☎(0532)546501

水は山からの贈り物

▶企画課☎23-3507

「山のまち」設楽町との交流事業を通じて水の大切さを学ぶイベントがあることをご存じですか？

本市と設楽町は、毎年夏休みに実施する「山のまち設楽体験ツアー」を通じて、設楽町や設楽ダムについて学んだり、本市の交流拠点である豊邦交流センターで交流を行ったりしています。これは「山のまち」である設楽町などの豊川上流域からの「水」の恩恵を本市がどれほど受けているかを学ぶことも目的となっています。

現在、設楽町において水不足解決や洪水被害の軽減のため「設楽ダム」建設が進められており、これにより、120戸以上の建物が水没します。私たちが受ける恩恵のため、上流域では住んでいた場所を移らなければならない人もいます。

こうした事実を理解するためにも、交流事業を通して、設楽町をもっと身近に感じ、水の大切さと山

の素晴らしさを体験してみたいかがでしょうか。このツアーイベントは今年も開催予定です。

※詳細は23ページをご覧ください。



▲ツアーではダム水没予定地も見学します